

読書のまち三郷だより

No. 27
平成24年
5月
三郷市教育委員会

5月の公園や土手には、いろとりどりの草花が咲き乱れています。一つ一つ図鑑で調べて花の名前や種類を覚えれば、これであなたも小さな植物博士。周りの人にも教えてあげましょう。

小・中学校全校に今年度も学校司書を配置

22年度6月から小・中学校の学校図書館に学校司書が配置されていました。これは国からの補助金を活用してのことでした。今年度は、三郷市の予算で学校司書配置が確保されました。5月から全小・中学校に配置の予定です。配置上は同じように見えますが、市の予算の中で、しっかりと読書推進が位置づけられたことになり、子ども読書活動としては大きな前進です。



23年度集計結果

小中学校・学校図書館貸出冊数

前年度比158%増

三郷の子どもたちの読書量が飛躍的に伸びてきました。読書のまち三郷が確実に推進されています。

図書委員の活躍で貸し出しスタート



<写真：彦糸小 4/18>

各校の図書委員が貸し出しに大活躍です。バーコード化で貸し出し方法も便利になりました。

うちどく

家読推進で家族の絆を培おう！

家族で読書を楽しんだ後、簡単に書きあった感想の紹介です。

「一りんの花」伝記 渋沢栄一 「言葉の力」中学年より 〈母子で〉後谷小

○村の人だけで井戸を作るのは、機械もないのに大変だったのだろうなと思いました。その井戸の水をあびると、病気がなおるといふ言い伝えがすごいなと思いました。(子)

○栄一の母のおえいさんの人を思いやる心はとても大切なことだと感じました。そんな母の姿を見ていた栄一だからこそ、りっぱに生きてこられたんだと読んで分かりました。(母)

八木郷子育て支援センター ◆幼い頃から読み聞かせ◆

三郷市は就学前の乳幼児の育児を応援するために、子育て支援センターやつどいの広場を設けています。八木郷子育て支援センターも「いつでも自由にどうぞ」と広い部屋が提供されています。また、ベテランのスタッフ加藤さんと高橋さんによりよい絵本がたくさん揃えられ、読み聞かせも行われています。



☆☆ 5/21 金環日食が見える！ ☆☆

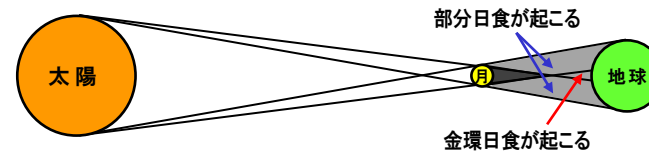
これを機会に宇宙に関心を持ちませんか？ 太陽・星・地球に関する本はたくさんあります。ぜひ、学校図書館・公共図書館を活用ください。

三郷市から見える日食の始まり 6:19

◎金環日食の始まりと終わり 7:32~37

三郷市から見える日食の終わり 9:03

注意！！ 太陽の光は非常に強力です。
○絶対に太陽の光を直に目に入れてはいけません
○太陽観測専用のフィルターなどを使います
○どんなに安全な方法でも続けて長くは見えません



北部図書館で星空観望会
5/27(日) 6:00~8:30
※詳しくは北部図書館まで

..... 本を読み 読書感想文で自己表現しよう！

「読んで世界を広げる、書いて世界をつくる」第58回青少年読書感想文コンクールの課題図書が決まりました。小学校低・中・高学年各4冊、中学校3冊です。その一部を紹介します。読書感想文にチャレンジするのは、本を読み込み、自分を見つめ直すとてもいい機会になります。賞をめざしてだけ書くわけではありませんが、このコンクールも一つのよい機会としてとらえていけるといいですね。ちなみに昨年度三郷市から二人の小学生が埼玉県読書感想文コンクールで最優秀賞に輝いています。

<小学校・低学年>

『へいわってどんなこと？』 浜田桂子/作
童心社 1,575円
平和ってどんなこと？命は一つで「きみやぼくがうまれてよかったということ」こどもたちと平和について考えていく本です。



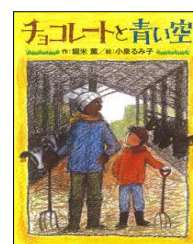
<小学校・高学年>

『ピアノはともだち：奇跡のピアニスト辻井伸行の秘密』 こうやまのりお/著 講談社 1,260円
視覚障害のハンディを持ちながら透明感のある音色で聴衆を魅了する辻井伸行さん。生い立ちから国際ピアノコンクールで優勝するまでの軌跡を追います。



<小学校・中学年>

『チョコレートと青い空』 堀米薫/作
そうえん社 998円
日本の専業農家にアフリカのガーナからエリックさんが農業を学びにやってきました。ガーナのこどもたちは学校も行けずチョコレートも食べられない...



<中学校>

『地をはう風のように』 高橋秀雄/作 福音館書店 1,575円
まだテレビもなかった昭和30年代半ば。舞台は日光連山をのぞむ栃木県の農村。祖母と弟の3人暮らし、物はなくても逆境であっても力強く進む少年の成長を四季の移ろいととも描きます。



☆親子で感想文にチャレンジしよう！早稲田図書館で親子感想文講座開催☆



・6月9日(土)と23日(土)の連続講座です。読書感想文は文章としては、本の内容を理解し、読んでいる人に分かる程度に簡単なあらすじを入れながら、自分の感想意見を伝える、とても高度な文章です。感想文とは何か？どのようにしたら感動が伝えられるのかなど親子で一緒に学んでみませんか。詳しくは早稲田図書館まで。